

マイクロマシン／MEMS 分野関連 経済報告 2024年1月号

2024年1月5日
(一財) マイクロマシンセンター
<https://www.mmc.or.jp/>

マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

掲載内容

1. 全般動向 (内閣府発表 景気動向指数より)
2. 各経済指標
 - ・内閣府公表 月例経済報告 より
 - ・内閣府公表 設備投資(機械受注統計調査報告) より
 - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

1. 全般動向

■ 景気動向指数(改訂値)結果 (内閣府、経済社会総合研究所 発表より抜粋)

令和5(2023)年10月分速報からの改訂状況(令和5(2023)年12月25日発表)より

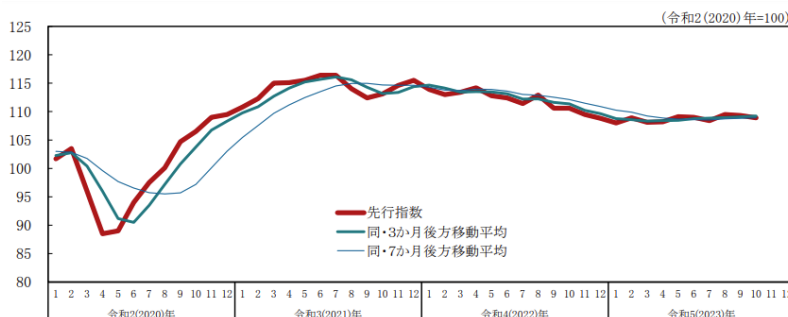
▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202310rsummary.pdf>

- ① 10月分CI(令和2(2020)年=100)(改訂値)は、
先行指数:108.9、一致指数:115.9、遅行指数:106.3

	10月分C I (令和2(2020)年=100)	
	速報	改訂
先行指数	108.7	108.9
一致指数	115.9	115.9
遅行指数	106.3	106.3

- ② 一致指数の基調判断
景気動向指数(C I一致指数)は、改善を示している。

一致指数の推移



▶ 内閣府「景気動向指数」関連 TOP ページ:

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html>

▶ 参考 - 景気動向指数「令和5(2023)年10月分(速報)(令和5年12月7日公表)」pdf:

(概要) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202310psummary.pdf>

(速報資料) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202310report.pdf>

2. 各経済指標

■ 月例経済報告（12月）（内閣府、令和5年12月19日 公表）

（「月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」より抜粋）

▶ <https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2023/12kaigi.pdf>

<日本経済の基調判断>

（現状）【判断維持】

- ・ 景気は、このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している。

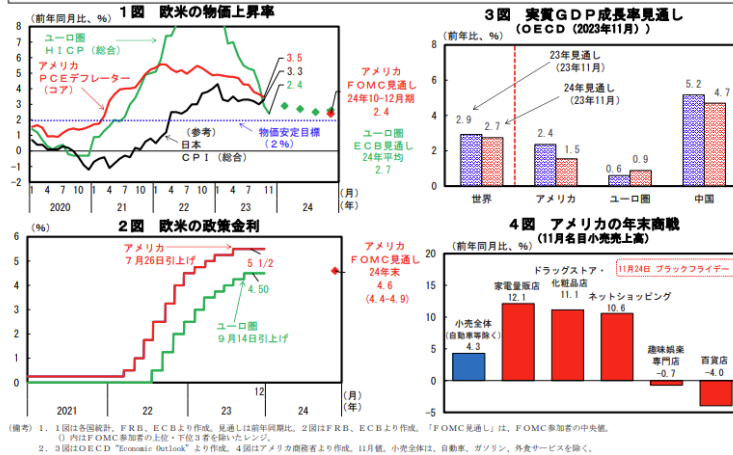
[先月の判断：景気は、このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している。]

（先行き）

- ・ 先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

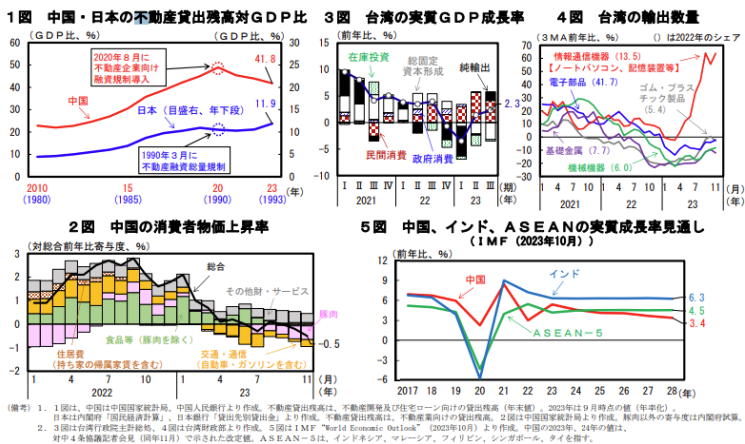
今月の指標(4) 欧米経済の動向

- ▶ 欧米の物価上昇率は低下傾向にある中で、政策金利は秋以降据置き。今後も物価上昇率は低下する見通し（1図、2図）。
- ▶ 2024年の世界経済は、これまでの欧米の金融引締め等を受けて、やや減速する見通し（3図）。
- ▶ なお、アメリカの年末商戦は、ネット販売等が好調であり、足下の消費は増加基調（4図）。



今月の指標(5) アジア経済の動向

- ▶ 中国では、不動産市場の停滞が継続。不動産貸出残高の対GDP比は2020年にピークアウトしたが、日本のバブル期よりも規模が大きい（1図）。消費者物価は、特殊要因もあり下落（2図）。
- ▶ 台湾の景気は、世界的に半導体需要が持ち直す中で持ち直しの動き（3図）。輸出は情報通信機器が急増（4図）。
- ▶ 今後、中国の成長率は徐々に低下する中で、インド、ASEANの成長率が上回っていく見通し（5図）。



- ▶ 内閣府「月例経済報告」TOP ページ：

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/getsurei-index.html>

- ▶ 内閣府「月例経済報告等に関する関係閣僚会議」（議事要旨）TOP ページ：

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/kaigi.html>

■ 設備投資 令和5年10月実績：機械受注統計調査報告

(令和5年12月14日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋)

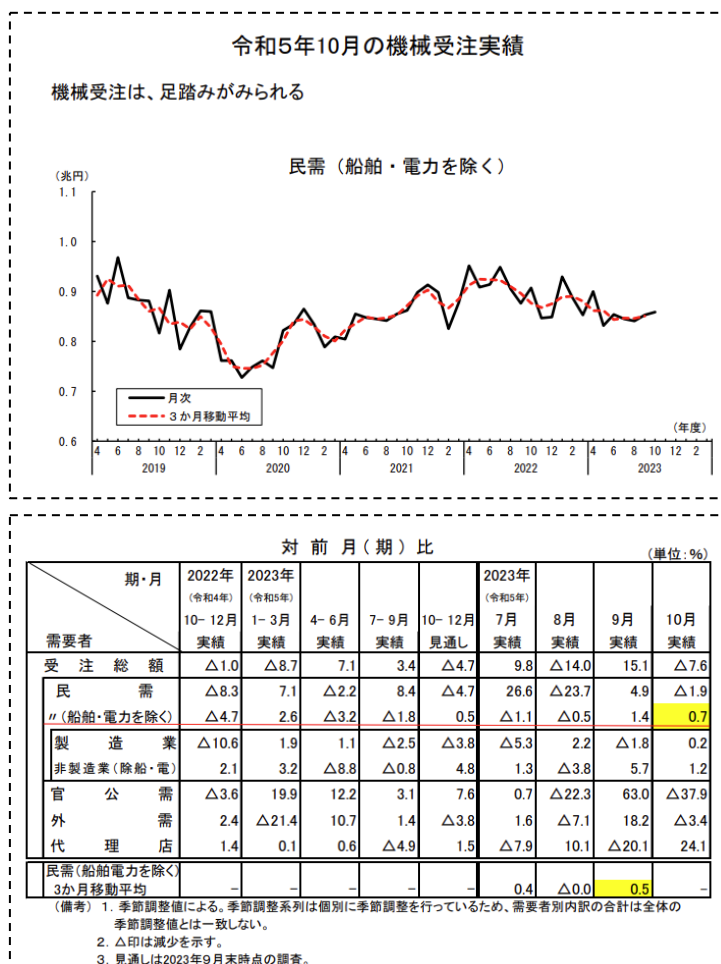
▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2023/2310juchu.html>

調査結果の概要（季節調整値）：

1. 機械受注総額の動向をみると、
2023（令和5）年9月前月比15.1%増の後、10月は同7.6%減の2兆6,544億円となった。
2. 需要者別にみると、
民需は前月比1.9%減の1兆47億円、官公需は同37.9%減の2,699億円、
外需は同3.4%減の1兆2,681億円、代理店は同24.1%増の1,257億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、
2023（令和5）年9月前月比1.4%増の後、10月は同0.7%増の8,587億円となった。
このうち、製造業は同0.2%増の4,092億円、非製造業（除く船舶・電力）は同1.2%増の4,500億円となった。

(以下図表は「令和5年10月の機械受注実績 概要（PDF版）」より抜粋)

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2023/2310gaiyou.pdf>



▶ 参考-機械受注統計調査報告（本文）（令和5年10月実績）

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2023/2310gaiyou.pdf>

▶ 内閣府「経済社会総合研究所 統計表一覧：機械受注統計調査報告関連」TOP ページ：

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html>

■ 鉱工業指数(生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数)

～製造業の動きから見る日本の景気～（経済産業省 2023年12月28日発表）

【2023年11月分】鉱工業指数の動向（速報）より抜粋

- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2020_202311sj.pdf
- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/book/b2020_202311sj.html

－ 生産は一進一退 －

- ・ 今月は生産、出荷は低下、在庫、在庫率は上昇であった。
- ・ 製造工業生産予測調査によると、12月は上昇、1月は低下を予測している。
- ・ 総じてみれば、生産は一進一退で推移している。

・生産は、前月比-1.3%の低下。

低下業種：自動車工業、電気・情報通信機械工業、汎用・業務用機械工業等
上昇業種：生産用機械工業、その他工業、プラスチック製品工業等

・出荷は、前月比-1.3%の低下。

低下業種：汎用・業務用機械工業、自動車工業、電気・情報通信機械工業等
上昇業種：その他工業、パルプ・紙・紙加工品工業

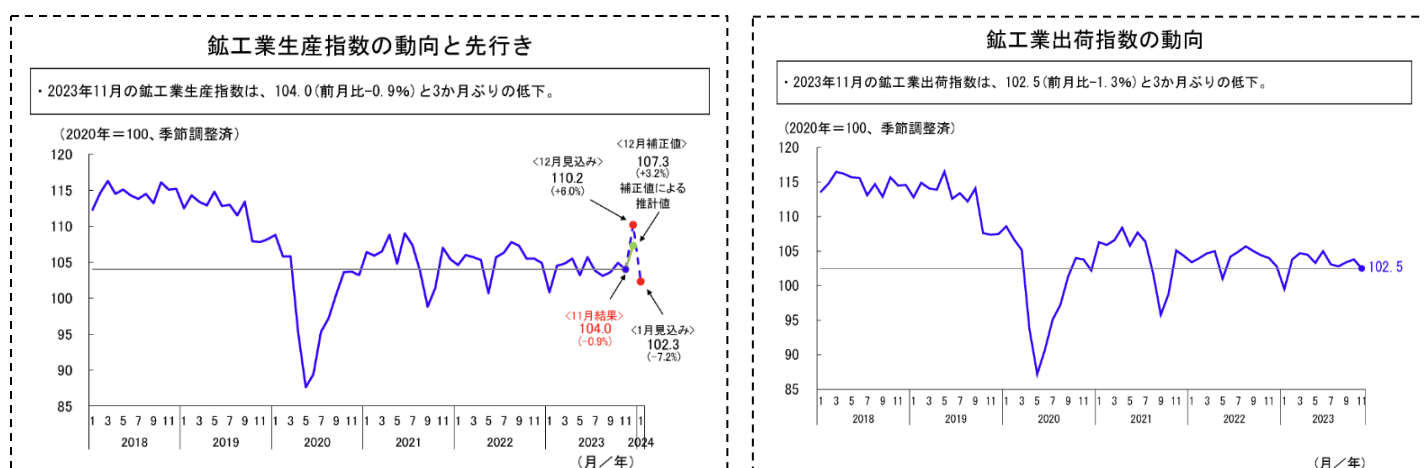
・在庫は、前月比0.1%の上昇。

上昇業種：車工業、電気・情報通信機械工業、
化学工業（除. 無機・有機化学工業・医薬品）等
低下業種：電子部品・デバイス工業、鉄鋼・非鉄金属工業、石油・石炭製品工業等

11月の「最新指数の解説」より抜粋

- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/kako/20231228_1.html

（解説）11月の鉱工業生産は、自動車工業や電気・情報通信機械工業、汎用・業務用機械工業等が低下したことなどから、全体として前月比マイナス0.9%と、3か月ぶりの低下。基調判断は、「一進一退」に据え置き。



詳細は以下の**経済産業省 ホームページ**をご参照下さい。

鉱工業指数（最新の）「結果の概要」:

- ▶ <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

経済解析室ニュース（サービス業・製造業の解説・分析レポート・統計）

- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/mailmaga_index.html

3. その他の動向

■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2023年12月22日発表より抜粋)

【2023年10月動向概況】

- ・ **2023年10月のグローバル出荷額は**
3,924億円、前年比98.7%となり、前年比マイナスとなった。
- ・ **品目別出荷は**
受動部品 (前年比100.6% 1,820億円)、接続部品 (同90.1% 900億円)、
変換部品 (同98.7% 693億円)、その他の電子部品 (同109.8% 510億円) となった。
- ・ **地域別出荷は**
日本 (前年比116.7% 951億円)、米州 (同95.3% 442億円)、
欧州 (同101.4% 399億円)、中国 (同98.4% 1,371億円)、
アジア・その他 (同83.9% 755億円) となった。

1. 月別出荷金額 (2023.12.22発表：毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)	2023年度						2023年度累計		
	8月		9月		10月		4月-10月		
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	
世界計	3,827	98	4,028	95	3,924	98	25,633	96	
(日本)	866	114	965	115	951	116	5,847	110	
品目別	受動部品	1,774	98	1,806	92	1,820	100	11,930	93
	コンデンサ	1,264	99	1,280	93	1,298	102	8,493	94
	抵抗器	162	93	164	88	160	90	1,109	91
	トランス	39	82	41	87	44	91	303	95
	インダクタ	275	99	288	92	282	99	1,798	94
	その他	32	77	31	87	33	89	224	77
	接続部品	885	92	957	94	900	90	6,091	93
	スイッチ	372	104	392	99	375	99	2,511	103
	コネクタ	509	86	562	90	520	84	3,555	87
	その他	3	98	3	82	4	100	25	105
	変換部品	666	100	705	95	693	98	4,150	99
	音響部品	28	118	28	95	29	121	183	107
	センサ	205	98	218	100	209	98	1,405	96
	アクチュエータ	433	100	459	93	453	97	2,561	100
	その他の電子部品	500	105	558	109	510	109	3,460	111
	電源部品	242	100	255	94	242	98	1,708	111
高周波部品	257	110	303	126	268	122	1,752	111	

2. 地域別出荷金額 (2023年度)

地域別出荷金額 (億円)	2023年度						2023年度累計	
	8月		9月		10月		4月-10月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	3,827	98	4,028	95	3,924	98	25,633	96
日本	866	114	965	115	951	116	5,847	110
米州	473	98	441	96	442	95	3,026	98
欧州	413	113	417	98	399	101	2,810	107
中国	1,333	94	1,453	93	1,371	98	8,769	91
アジア他	736	84	744	79	755	83	5,151	86

詳細は以下の JEITA (電子情報技術産業協会) ホームページをご参照下さい。

▶ https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html

以上